

全労金2018春季生活闘争ニュース・第4号

単組の要求概要と交渉担当者の決意を紹介します！

本号からは、「統一闘争」として闘いを進める「全労金2018春季生活闘争」の“共同体制”を強化する観点から、檄交流した単組毎を中心に、単組の要求概要と交渉担当者の決意とあわせて、団体交渉の様子や交渉メンバーを紹介します。

本号では、北海道労組と北陸労組を紹介します。

◎北海道・北陸労組の要求概要

		北海道労組			北陸労組（金庫）				北陸労組（関連） ※組合加入者なし		
		正職員	パート(P3)	パート(P1P2)	正職員	一般職	嘱託職員	臨時職員	正社員	嘱託社員 (短時間)	嘱託社員 (短時間)
安定雇用	無期転換	(実現)			(実現)				無期転換権の付与		
	登用制度	(実現)			(実現)				登用制度の確立		
最低賃金		時間額970円、日額7,120円、月額149,400円への引き上げ			時間額970円、日額7,120円、月額149,400円への引き上げ				-		
基本賃金		定期昇給の実施			-	-	月額7,000円の引き上げ +定昇3,000円	初任時間額20円の引上げ（※970円） 3年目以上1,030円に引上げ、定昇30円	2,000～3,900円の引き上げ	賃金表の策定	臨時職員と同様
一時金		4.7	2.0	1.2	4.1	4.1	制度化、1.0		4.0	制度化、1.0	
昨年実績		4.7	2.0	1.2	4.1	4.1	60,000～100,000円		4.0	80,000	支給なし
雇用環境	ジョブ・リターン	(実現)	(実現)		継続協議中				-		
	年休積立	使用目的に不妊治療を追加			継続協議中				-		
	私傷病休職	-	(実現)		-	(実現)	正職員と同様		金庫正職員と同様		
公正処遇	年休	-	(実現)		-	(実現)	正職員と同様		-	正社員と同様	
	生休	-	(実現)		-	(実現)	正職員と同様		-	正社員と同様	
	母性保護	-	(実現)		-	(実現)	正職員と同様		-	正社員と同様	
単組独自要求		-	永年勤続表彰		-	-	連続休暇 結婚休暇 退職金制度		-	退職金制度	
関連会社		(関連会社政策を踏まえ、協議) (無期雇用転換権は実現)									

《北海道労組・鶴見 雅司書記長の決意》

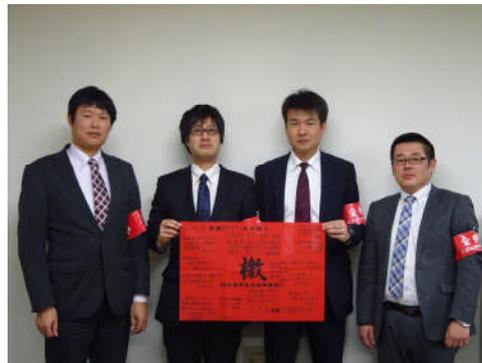
北海道労組の2018春季生活闘争方針は、2月5日から9日に実施した全道オルグでの意見交換を経て、第3回中央委員会（2/24）において、全組合員の総意で「北労金労組2018春季生活闘争方針」を確立しました。

方針確立以降、掲げた要求を勝ち取るまで、真摯な交渉を重ねていきます。北海道労組は、第74回定期大会において「パートナー職員のユニオンショップ制導入」を決議し、全てのパートナー職員が労組の加入後、総勢606名で闘う初の春季生活闘争となるため、今まで以上に要求の背景や趣旨・交渉の経過を全組合員で共有することが重要となります。また、新年度から始まる長期ビジョン＜2018～2024年度＞、次期中期経営計画＜2018～2020年度＞の実現に向けて、全ての労金労働者が一丸となって邁進

できる環境を作り上げるために、全道の組合員・全国の仲間と共に、最後まで粘り強く闘い抜きます。共に頑張りましょう！



《北海道労組・団体交渉の様子》



《北海道労組・交渉メンバー》

《北陸労組・村上 真悟副委員長の決意》

北陸労組は、3月1日に開催した第3回中央委員会において、全組合員の総意のもと「2018春季生活闘争方針」を全会一致で確立しました。「底上げ・底支え」「公正処遇」「ワークライフバランスのとれた働き方」の実現に向け、要求内容に確信と誇りを持って全組合員が一丸となって2018春季生活闘争を闘い抜く所存です。

職場の現状を鑑み、とりわけ今春闘では、誰もが健康で平等に働き続けることができる職場環境の実現に注力するとして、職場風土改革に向けた取り組みとして「労使委員会」の設置を要求しています。

今日の金庫を取り巻く環境と経営状況を踏まえれば、非常に厳しい闘いとなることが考えられますが、日頃の組合員の頑張りにより報いることが出来るよう、組合員一人ひとりの想いを結集し、最後まで要求実現に向けてこだわりを持って交渉に臨みます。

労金業態で働くすべての労働者の労働条件の改善をめざし、全国の仲間とともに最後まで闘い抜くことを誓います。ともに頑張りましょう！



《北陸労組・団体交渉の様子》



《北陸労組・交渉メンバー》

※ 次号は3月8日(木)に配信予定です。

以上